

『ふるむ・マラウイ』～交通事情～

30th /Sep/2010 第1号

Muli bwanji ! (ムリブワンジ: チェワ語でこんにちは, ご機嫌いかがの意)

今回は、交通事情についてご紹介します。マラウイは、日本車であふれかえっています。あとは、町を歩いていると85%が日本車、10%前後がドイツ車です。『トヨタ・マラウイ』があるため、新車もよく見かけます。

協力隊員は遠距離移動の際、通称『ミニバス』と呼ばれる日本車のワゴン車を使います。ワゴン車には『 学習塾』とか『x 市』とか日本でのそのままの姿で走っています。だいたい15人くらいのすし詰め状態で1~2時間、長い人で4時間以上乗らなければなりません。また、マライアンはスピードをすごく出しますし、整備不良の場合も多いのでそのミニバスに乗る前に

営業許可を取っているミニバスか

むやみにガラスが割れてないか、ボディがへこんでないか

タイヤに溝があるか

をチェックします。しかし、中身まではなかなか確認できません。私の場合は、スピードメーターのほかすべての計器が動いていないミニバスに乗ってしまい、少しびびりました。

また、大事なのは、乗る前に運賃の確認と乗っている間は絶対寝ないということです。運賃はあってないようなものなので、外国人だと少し高く言う場合もあるみたいです。ちなみに、私は現地人料金以上取られたことは今のところないです。スリの危険性があり、寝てはいけません。こんな感じですが、マラウイではバス以外長距離移動の手段がないため隊員は現地の人と同じようにミニバスを利用します。



こんな風にすし詰め状態(22年一次隊 樋口隊員提供写真)



首都を走るミニバス(赤いナンバーが目印)

次号では、私の赴任地デッサを紹介します。